

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	草笛学園		
○保護者評価実施期間	2025年12月6日		～ 2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	2025年12月8日		～ 2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどものことを理解し、発達や特性に応じた支援をおこなっています。	・子どもたちの発達・特性を考慮し、個の状況をクラス職員で共有しながら支援内容を検討しています。生活の分かりやすさ、楽しみが持てるような工夫をしています。 ・発達に応じたグループ編成し、より子どもにあった活動内容を保障できるようにしています。	・研修や他施設との実践交流、研修などに積極的に参加し、職員の資質向上に取り組んでいきます。
2	・家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニングなど）家族も参加できる研修会や情報提供の機会等を行っています。	・親子教室、就学児懇談、個人懇談、クラス（グループ）懇談、研修会、講演会を実施し、子ども理解を深めていけるようにしています。	・研修の内容については、保護者の方の意見もいただきながら、検討していきたいと思います。 ・保護者の方同士が気軽に交流したりできるような機会も作れるよう検討していきます。
3	・地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取り組みなどを行っています。	・講演会の案内や実地研修の受け入れをおこない、共に学びを深められるよう意識しています。 ・広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市児童発達支援事業所連絡会にて学習会（就学について、ケース検討など）をおこなっています。 ・事業所だけでなく、地域の保育所や幼稚園、こども園を対象に研修会や施設支援などをおこなっています。	・地域障害児支援体制中核拠点として、地域全体で質を高めていけるように、講演会や幼通協や児発達での学習会など、積極的に取り組んでいきます。また、中核機能としての役割を地域に周知していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全計画や事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等作成していますが、十分な周知と発生を想定した訓練が実施できていません。	・各マニュアルを所定の位置（相談室前）に閲覧できるように設置していますが、職員全体で共有する機会をもうけることができていません。 ・防災訓練、土砂災害訓練以外の訓練の実施が不十分です。	・職員研修や職員会議などで、職員全体ですべてのマニュアルについて把握できる機会を持ちます。併せて、マニュアルの見直しもおこなっていきます。 ・地震や防犯などの訓練も実施していきます。
2	・きょうだい同士の交流の機会が設けられていないなど、きょうだいへの支援が十分にできていません。	・きょうだいのみの行事や活動を計画する時間の保障、日程確保が難しいです。	・親子行事（おもちゃつき）では、きょうだいの参加も可能としましたが、きょうだい同士の交流は十分ではなかったように思います。今後、交流できるような活動を検討していきます。
3	・地域の方を招待するなどの地域に開かれた事業運営委はできていません。	・活動を計画する時間の保障、日程確保が難しいです。	・地域貢献活動の相談窓口として機能が発揮できるように啓発していきます。 ・新聞発行による周知ができればと考えています。